

日本混相流学会
2007年度第1回理事会・議事録

日時：平成19年8月5日(日)10:00-12:00

場所：京大会館 213号室

出席者(理事)：井口学(会長)、逢坂昭治(企画担当副会長)、奈良林直(情報担当副会長)、高橋弘(情報部会長)、功刀資彰(企画部会長)、石井俊夫(国際部会長)、大参達也(総務部会長)、渡部正夫(九州地区担当理事)、大成博文(リエゾン担当理事)、大川富雄(関西地区担当理事)、齋藤隆之(学生会理事)

出席者(オブザーバー)：近藤健(事務局)

議題と配布資料：

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 会長挨拶、理事紹介、理事役員名簿確認 | [資料 2007-1-01] |
| 2. 前回議事録の確認 | [資料 2007-1-02] |
| 3. 会則、内規、規定、覚書、申合せ事項確認 | [資料 2007-1-03] |
| 4. 今年度理事会開催スケジュールについて | [資料 2007-1-04] |
| 5. 委員会委員 | [資料 2007-1-05] |
| 6. 地区代表の選出について | [資料 2007-1-06] |
| 7. 論文精選集の発行準備について | [資料 2007-1-07] |
| 8. 学会賞の選考準備について | [資料 2007-1-08] |
| 9. 確認事項 | [資料 2007-1-09] |
| 10. 情報部会報告 | [資料 2007-1-10] |
| 11. 企画部会報告 | [資料 2007-1-11] |
| 12. 国際部会報告 | [資料 2007-1-12] |
| 13. 学生会報告 | [資料 2007-1-13] |
| 14. リエゾン委員会報告 | [資料 2007-1-14] |
| 15. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告 | [資料 2007-1-15] |
| 16. その他 | [資料 2007-1-] |

議事：

- 会長挨拶、理事紹介、理事役員名簿確認
・石井俊夫理事より、所属の記載ミスの指摘があった。(誤：JFE 技術研究所、正：JFE 技研)。
- 前回議事録の確認
・大参総務部会長から資料 2007-1-02 に基づき 2006 年度第 5 回議事録の確認があった。意見、コメント等がある場合には総務委員長宛に連絡することとした。
- 会則、内規、規定、覚書、申合せ事項確認
・日本混相流学会の規定類を配布し、総務部会長より、適宜ご確認頂きたい旨お願いがあった。
・規定の一部が旧版であったため、次回理事会までに最新版を配布することとした。

4. 今年度理事会開催スケジュールについて

- ・2007年度理事会のスケジュール調整を行い、下記の通り計5回開催することとした。
 - － 第1回：平成19年8月5日(日) 10:00-12:00 京大会館
 - － 第2回：平成19年9月8日(土) 13:00-17:00 大阪
 - － 第3回：平成19年12月8日(土) 13:00-17:00 東京
 - － 第4回：平成20年3月8日(土) 13:00-17:00 大阪
 - － 第5回：平成20年7月12日(土) 13:00-17:00 東京

ただし、第4回については状況により札幌で開催するという提案もあり、詳細は後日メールで調整することとした。

- ・旅費支給額の計算方法については、総務委員長作成の原案を承認した。

5. 委員会委員

- ・井口会長より各種委員会委員長宛に委員構成の依頼を行い、次回理事会を目処に委員リストを作成することとした。

6. 地区代表の選出について

- ・評議員を推薦する地区代表者が交代となる地区について、各地区担当理事と前任者が連携して後任候補の調整を行うこととした。
- ・2名中1名交代になる監事については、矢部筆頭副会長が調整を担当することとした。
- ・評議員、監事選挙までのスケジュールを確認した。

7. 論文精選集の発行準備について

- ・今年度の論文精選集発行のため、編集委員会と年会講演会論文精選集小委員会にスケジュールの確認を行うこととした。

8. 学会賞の選考準備について

- ・井口会長より、2007年度学会賞選考委員長として矢部彰氏(産総研)が推薦され、理事会として承認した。
- ・表彰規定に基づき、2007年度名誉会員選考委員長を矢部筆頭副会長が担当することを確認した。
- ・2007年4月発行の論文精選集Ⅱに掲載の論文に関する推薦手続きについて議論した。被推薦資格として主たる著者(第一著者ないし連絡責任著者)が会員であるべきとの意見が出された。

9. 確認事項

- ・昨年度に学会賞年齢制限に関する規定を明確にするため表彰規定が改正されたことを確認した。

10. 情報部会報告(口頭報告。資料は後日配布)

- ・高橋情報部会長より、編集委員会の活動について、8月開催の新旧合同編集委員会の議題、学会誌の内容(特集記事の企画)、編集委員会の開催日程が報告された。また、ホームページからJ-stageにリンクする作業が完了したこと、およびホームページのリニューアルを検討している旨報告がなされた。

11. 企画部会報告

- ・功刀企画部会長より、資料2007-1-11に基づき、小泉研究企画委員会委員長による研究企画委員会立ち上げ作業の進行状況について報告された。
- ・研究企画委員会については年度末に会計報告等が必要との指摘があった。

12. 国際部会報告

- ・石井国際部会長より、資料2007-1-12に基づき、2006年度の総括と2007年度の事業予定が報告された。各事業については、部会長が情報を収集し、報告することが確認された。

13. 学生会報告

- ・齋藤学生会担当理事より、資料2007-1-13に基づき、2006年度の総括と2007年度の活動方針が報告された。

14. リエゾン委員会報告（口頭報告）

- ・大成リエゾン専門委員会委員長より、以下の提案・報告がなされた。
 - (1)「リエゾン」の名称が一般に分かり難く、活動上支障があるので変更してはどうか。
 - (2)今後の発展方向について、1年かけて検討していきたい。
 - (3)本年度第1回研究会は、名古屋大学で行う予定。
 - (4)研究会主催団体として、ある程度の準備金があった方が対外的に望ましい。
 - (5)レクチャーシリーズ等のセミナーは、リピーターが多く参加者が増加する傾向にある。9月（長野）、10月（山形）、11月（仙台）に開催予定。

15. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告

- ・年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会から提出された報告（資料 2007-1-15）について審議し、報告内容を了承した。

16. その他

- ・功刀企画部会長より、2008年度OMFについて、関西地区での開催を予定しており、代表予定者の内諾を得ている旨報告がなされた。
- ・混相流実験データ映像館運営委員会の奈良林委員長より、混相流実験データ映像館について以下の報告がなされた。
 - (1)混相流実験データ映像館のホームページは完成しており、学会ホームページからリンクを張ることとする。
 - (2)今後のサーバーの維持費が問題となる。

以上

作成：大参達也（総務部会長）